

古墳時代とは？

I-1-①



I-1-①

今からおよそ1,700年前、日本各地に土を高く盛らせた巨大な墓がつくられるようになります。これらは、弥生時代からの米づくりの発達によって蓄えられた富と大きな権力をもつ支配者である豪族の墓で、「古墳」と呼ばれています。この古墳がつくられた約400年間を「古墳時代」と呼んでいます。

古墳は西日本でつくられはじめ、4世紀後半(1650年前)頃になると、東北地方にも広まり、ようやくこの名取の地にも古墳時代が訪れたようです。

名取では、全長168mの前方後円墳である雷神山古墳など、大小さまざまな古墳がこの時代につくられました。

豪族とは：

地域の農作業や土木工事などの指導者や、特別な技術を持った人のこと。

I-1-②

なぜ、古墳が築かれたの

I-2-①



I-2-①

各地に分かれていたクニが、強いクニに吸収されて、さらに大きなクニが地方ごとにてきていきました。地方を治めるクニの支配者は、農業の生産力を高めるために、弱いクニを支配下におき、多くの労働力を集めて、用水路や排水路の工事を行って水田を開いていきました。支配者は大きな権力をもっていたのでしよう。

そのような支配者は、権力があることを人々にしめして、人々を治めるために、巨大な墓「古墳」をつくりました。

I-2-②



I-1-③